

Key
Person



(株)アトラス 代表取締役

宮城 大地

子どものころから建設業の職人に憧れ、夢を叶えるべく10代で修業を始めた宮城社長。やがてその目標は経営者に、さらには法人化や建設業許可の取得へと広がっていった。これまでの道程は決して易しいものではなかったが、仕事を心から楽しむ姿勢と、家族や仲間の存在を原動力に、直向きな努力で必ず目標を達成してきた社長。「周囲の存在が何よりも大きな私の財産です」と語る。感謝の気持ちを忘れず、「人」を大切に歩み続ける社長なら、これからもどんな壁をも乗り越えていくに違いない。

「皆が支えてくれたからこそ今がある。
これからも周囲を大切に歩んでいきます」

真摯に一つひとつの現場 仲間とさらなる高みを目

に臨み 指す!!

建物の資産価値を守るために欠かせない防水工事。そんな防水工事一式を、埼玉・東京・千葉を中心に、関東で手掛けているのが『アトラス』だ。宮城社長は若くして独立を果たし、直向きな努力で事業を成長に導いてきた人物。そんな社長のもとを、タレントのラッシャー板前氏が訪問し、社長に事業や仲間たちへの思いを語っていただいた。

■ 人一倍の努力で目標をクリアし 進化を続けていく

——『アトラス』さんでは、防水工事一式を手掛けておられると伺いました。

塩ビシート防水やアスファルト防水、ウレタン防水といった各種防水工事を主軸に、防水工事に伴う塗装・足場・下地補修・洗浄なども一貫して行っています。マンション・集合住宅などの大規模改修工事から、戸建住宅の改修工事、部分補修工事まで規模の大小を問わず幅広く対応しているので、お困りの際はぜひお声掛けいただければと思います。

——頼もしいですね。宮城社長はどういった経緯で今のお仕事に就かれたのですか。

親類に建設業の職人が多くいたことから、私も子どものころから職人に憧れていたんです。それで建築科のある高校に進学。勉学に励み中、友人たちが現場でアルバイトをしている姿を見て「高校を卒業せずとも職人にはなれるんだな」と気づきまして(笑)。早く社会に出て修業を始めたい気持ちもあったので、中退して大工の親方に弟子入りしました。

——こうと決めると一直線なのですね。周囲も驚かれたのでは？

両親には反対されましたが、一度決めたことは絶対に実行したかったんです。大工の親方はとても厳しい方で、心身共に鍛えていただきました。その後、友人の紹介で17歳の時に防水工事会社で働き始め、2年後に『大地興業』として独立。当初は前勤務先の専属の職人として現場

に入っていました。

——着実に前進してこられたわけだ。必ず職人として成功してやるという強い意志を感じますよ。

ありがとうございます。とはいえ、今振り返ると高校を卒業してから社会に出るのも一つの道だったと思います。というのも、指定の学科を修了すれば現場監督になる資格が最短で取得できるんですが、そうでなければ実務経験を数年積みなければ受験資格が得られません。2022年でようやく規定の年数を満たしたので試験を受けることができ、嬉しいことに一発で合格することができました。

——おめでとうございます！ 難しい試験だったのでは？

この試験は年に一度のみで、一次試験・二次試験に加えて小論文も書かなければいけないんです。合格者は受験者の3割ほどなので、ハードルは決して低くありません。専門とする防水工事についてはよく分かっていますが、試験内容は防水以外の分野のことも出題されるため、建設関連の別の仕事に就く友人に頼んで現場を見にいかせてもらい、勉強しました。

——努力が実を結びましたね。その資格があるとやはり仕事にも有利ですか。

あるとなんてでは全然違います。資格があると現場のトップを務められることはもちろん、建設業許可も取得できます。私共もずっと建設業許可の取得を目指してきました、今年やっと取得できました。そして『アトラス』として法人改組も果たし、新たなスタートを切ることができて、嬉しく思います。



代表取締役
宮城 大地

ゲストインタビュー
ラッシャー板前

■ 周囲の存在を力に変えて より良い未来に向けて歩む

——現在も前勤務先を通じて現場に入ることが多いのですか。

独立して1年後に、将来を見据えて取引先の開拓を始めました。技術力には自信があり、仕事ぶりを評価していただき、ありがたいことにこの地域有数のハウスメーカー様とご縁を得ることができました。

——仕事が一番の営業と言いますものね。事業を成長に導く原動力となったものは何だったのでしょうか。

仕事が好きという思いでしょうか。17歳で初めて防水工事に携わった時、

古く汚れた部分などがどんどん綺麗になっていく面白さや、やりきった達成感に魅了されました。その「仕事が好き」という思いは今もずっと変わりません。

——「好き」という気持ちが、技術の研鑽にも繋がったのですか。

また、家族の存在も大きいですね。守るべき存在を得たものの、事業においては独立してまだ日が浅く実績がありませんでした。後には引けないという思いから、必死になって勉強し、終業後に家でも練習をして、知識と技術を磨いてきました。それが今の大きな糧になっていると思います。

そして周囲の存在も大きな支えです。「お前が起業したら絶対にその会社に入

《施工へのこだわり》

- ◆建物の構造、予算に合わせた工法をご提案 ◆お見積りは現場だけで判断しない
- ◆優れた施工力と最新の技術 ◆信頼と安心



▲日々真剣に現場に向き合うスタッフさん(左・右上)。業務終了後に、一緒に食事を囲む様子(右下)。

COLUMN

防水工事は建物の寿命を左右する大切な仕事。だからこそ信頼と安心をモットーに、一つひとつの現場に真摯に向き合い続けてきた『アトラス』。同社の強みは、ウレタン防水やシーリング工事などそれぞれの工種において、10年以上の経験・スキルを持った専門の職人が管理・施工をしていること。仕上がりの美しさだけでなく機能性も兼ね備えた仕事が可能で、多くの顧客から「安心して任せられる」と太鼓判を押されている。また、マンションや戸建住宅だけでなく、病院や各種工場、商業施設など様々な現場での実績を持つため、各現場に最適な工法を提案してくれるのも魅力。お困りの際は、防水のスペシャリスト集団である同社に相談してみたい。

after the interview



「有言実行の精神と、弛まぬ努力で成功を収めてくれた宮城社長。支えてくれる周囲への感謝の気持ちを忘れない謙虚さも魅力で、良さ仲間が集まってくるのも納得です。これからも真っ直ぐな姿勢はそのままに、皆さんで力を合わせてさらなる活躍を続けてくださいね」
ラッシャー板前・談

りたい」と言ってくれた仲間が多く、彼らのためにも頑張ってきました。私が大変な時には仲間や周囲の方が支えてくれたので、今があるんです。皆には感謝の思いが尽きません。

——周囲の存在が社長の力になっているわけだ。これからも感謝の気持ちを忘れず、皆さんを大切に歩んでいきたいね。

ええ。今後は共に働く仲間がより良い生活を送れるように事業規模を大きくしていきたいですね。そして皆で楽しく仕事ができる——そんな会社であり続けたいです。

——私も応援しています！

(取材 / 2022年7月)